

## 令和5年度 岩手県立遠野高等学校経営計画

校長：伊藤 正 則

1	校訓・教育目標	本校は、次のような人材の育成を目標として教育実践を行う。 (1) 豊かな知性と人間愛をもつ人 (2) 高い徳性と美を求める心をもつ人 (3) 強い体力と自主・自律の精神をもつ人	
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	(1) 人間形成能力ー他者共感力と他者理解力を養い人間尊重の精神を身につけます。 (2) 社会形成能力ー協働性と主体性を養い新たな社会を創造していく能力を高めます。 (3) 自己理解力ー自己肯定感を高め自分らしい生き方を決めていく力を身につけます。 (4) 自己管理能力ー計画性とキャリアプランニングスキルを養いながら自己自身を律する生活力を身につけます。 (5) 課題対応能力ークリティカルシンキングと創造的思考力に満ちた柔軟な適応性を身につけます。
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	(1) 新しい時代を見据えた授業改善に取り組みます。 ICTの活用やアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に取り組み、生徒の確かな学力を育成します。 (2) 新しい『遠野物語』を創るプロジェクトに取り組みます。 自己のあり方や生き方を考えながら課題を発見し、解決に向けての道筋を探る中で、思考力や判断力、主体性や協働性などの、これからの社会で求められる資質の向上と能力を身につけていきます。 (3) 対外交流事業への積極的参加を促進します。 さまざまな制度を活用し、国際交流や学校外関係機関等と交流します海外の高校生を受け入れて交流を図り、異文化理解を深めます。
		(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	(1) 豊かな知性を求め、自ら進んで学ぼうとする一志を高く持ち、自分を磨く生徒。 (2) 遠野を舞台に、対話を通じて徳性を養い共感できる美を求めようとする一地域に学び他者と協働して、自己の考えを広める生徒。 (3) 「生きる力」を高め、自主的・自律的な生活を営むための経験を積もうとする一先生と一丸となって、精神力を磨き体力を鍛え文武両道を目指す生徒。
3	魅力化協働パートナー	遠野市、遠野市六日町近辺地域住民、遠野市文化振興財団、同窓会、PTA、遠野市内中学校、株式会社遠野テレビ、株式会社栄組、ネクストコモンズラボ遠野、有限会社内田書店、のほら、富士大学	
4	目指す学校像	重点目標	達成指標
		ア 学習指導「確かな学力の育成」	・授業の内容がわかると答えた生徒の割合【80%以上】
		イ 生徒指導「積極性・主体性及び人間関係形成能力の育成と教育相談の充実」	・人が困っているときに進んで助けようと思う生徒の割合【80%以上】 ・自分には良いところがあると思っっている生徒の割合【80%以上】
		ウ 進路指導「未来を生きるための進路実現」	・進学希望者のうち大学等進学率【50%以上】 ・就職の県内就職・就業率【60%以上】
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止といじめの早期発見と解消に向けた適切な対処	・認知したいじめが解消した割合【100%】
(1) 今年度の重点目標			

<p>4 目指す学校像 (再掲)</p>	<p>(2) 取組方針</p>	<p>ア 学習指導「確かな学力の育成」</p> <p>(ア) 適切な目標の設定と、目標に準拠した観点別評価の実施による指導と評価の一体化。</p> <p>(イ) 授業と有機的に関連させた家庭学習による、学習習慣および自学自習の姿勢の確立。</p> <p>(ウ) 岩手県高校教育指導指針に基づいた、生徒の学力を保障するための授業改善の推進。</p> <p>(エ) 県教委、市教委、近隣各学校及び教育機関や地域団体との連携強化による学力向上。</p>
		<p>イ 生徒指導「積極性・主体性及び人間関係形成能力の育成と教育相談の充実」</p> <p>(ア) 生徒が主体的に活躍する学校行事や委員会活動及び部活動等の充実。</p> <p>(イ) ボランティアや各種コンクール、地域行事への積極的な参加の促進。</p> <p>(ウ) 自他の命を大切に、生徒一人ひとりが相互に尊重しあう姿勢の醸成。</p> <p>(エ) 生徒参画と教育相談態勢の充実による、いじめや不適応の未然防止。</p>
		<p>ウ 進路指導「未来を生きるための進路実現」</p> <p>(ア) 総合生活力と人生設計力を育成し、社会で求められる資質・能力を高める進路指導。</p> <p>(イ) 地域や社会との接続を意識し、これからの社会で活躍できる人材を育てる進路指導。</p> <p>(ウ) ICTの活用や外部機関との連携により、主体的・内発的進路選択を促す進路指導。</p> <p>(エ) 全教員による小論文・面接指導と情報共有により、多様な進路に対応する進路指導。</p>
		<p>エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止といじめの早期発見と解消に向けた適切な対処</p> <p>(ア) いじめ防止対策推進法と学校いじめ防止基本方針に則った適切な対応。</p> <p>(イ) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と未然防止の取組。</p> <p>(ウ) 適切な初期対応と保護者との連携による早期解消及び重大事態の抑止。</p>
		<p>オ その他</p> <p>(ア) 復興教育の成果を踏まえた本県を支える人材の育成。</p> <p>(イ) 学習指導要領に即したカリキュラムマネジメントの実施と総合的な探究の時間(新しい「遠野物語」を創るプロジェクト)の更なる充実。</p> <p>(ウ) 対外交渉事業(国際交流及び地域活動等)への積極的参加の督励。</p> <p>(エ) 全教職員の教育力の向上(校内研修会の充実及び各種研修への参加と研修成果の共有)。</p> <p>(オ) 各種講話や講演会の計画的かつ効果的施行による人間性の向上。</p> <p>(カ) コンプライアンス研修のさらなる推進(教育公務員としての自覚ある行動の実践)。</p> <p style="margin-left: 20px;">a 岩手県職員憲章・所属長のコンプライアンス指導を踏まえた行動。</p> <p style="margin-left: 20px;">b 毎月定例職員会議に輪番制で事例を共有し毎週末や休前日に注意喚起。</p> <p>(キ) 働き方改革を踏まえた業務改善への組織的取組。</p> <p>(ク) 教職員のライフステージの相互理解と居心地の良い職場環境の創造。</p> <p>(ケ) 清掃の徹底、環境整備及び予算の的確な執行。</p>